

平成 29 年 3 月 21 日

あいの風とやま鉄道富山駅高架下開発に係る意見

このたび、所用により第3回検討委員会を欠席いたしますので、以下のとおり、意見を提出いたします。

この先、日本、とりわけ地方都市を、訪問する外国人旅行者はさらに増加すると見込まれる。すなわち、富山駅、あいの風鉄道を利用する訪日外国人も増加する。

このような旅行客にとって、富山駅を使いやすくすることは県の観光にとってプラスである。

「駅内の案内表示の多言語化」については、資料にも記載されているが、外国人にとって「見やすい」「わかりやすい」ものであることが重要だと考える。

また、駅という施設であるので、特に市内観光中に、荷物をプールできる施設、（大型）コインロッカーや一時預かりサービスが設置されることを望む。（案内所から近い距離にあることが理想的。）